

平成 28 年度 大阪府立交野支援学校 第 1 回学校協議会 報告

1. 日時・場所	平成 28 年 6 月 27 日 (月) 午前 10 時から 11 時 30 分 本校会議室			
2. 出席者	【学校協議会委員】			
	金見 幸夫	元大阪府立学校長		
	八尾 康典	交野自立センター所長		
	大河内 孝子	交野市森地区区長		
	小西 均	四條畷市砂地区区長・砂自治会長 (公務により欠席)		
	関 真美	大阪府立交野支援学校 PTA 会長		
	西田 由紀子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長		
	【事務局】			
	校 長	井上 昌二	准校長	松尾 光雄
	事務部長	仲辻 昌造	四條畷校教頭	南 佐和則
	本校教頭	藤野 洋子	四條畷校首席兼中学部主事*	溝部 晃輔
	本校教頭	本川 隆文	四條畷校首席兼高等部主事*	村上 智則
	本校首席	丹羽 はるか	*公務のため欠席	
	本校首席	相馬 寿子		
	本校小学部主事	山田 恵子		
本校中学部主事	大西 直子			
本校高等部主事	西島 洋美			
3. 次第	<p>(1) 校長挨拶 (井上校長)</p> <p>(2) 「学校協議会委員」および「事務局」自己紹介</p> <p>(3) 「会長の選出」と本年度の「学校協議会実施要綱」「学校協議会傍聴規則」の確認 ≪推薦により、会長に金見幸夫様が選出された≫</p> <p>(4) 本年度の予定</p> <p>(5) 本年度の「学校経営計画」(本校) 本年度の「学校経営計画」(四條畷校)</p> <p>(6) 意見交換</p> <p>(7) 准校長挨拶(松尾准校長)</p>			
4. 報告	<p>* ≪本校「学校経営計画」説明≫</p> <p>「めざす学校像」実現に向けての「中期的目標」を確認後、学校長が「今年度の具体的な取組内容」を中心に説明を行った。</p> <p>【中期目標】 1. 安全安心な学校づくり</p> <p>(1) 「大災害時の対応マニュアル」の確認・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度作成した「対応マニュアル登下校バージョン」を今年度の児童生徒向けに作り変えている。 ・災害時(緊急時)の薬剤扱いについて、最良の方法を模索している。 ・PTA と協力し 3 日分の備蓄食、備蓄品を今年度も確保している。 <p>(2) 安全安心な医療的ケアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合理的配慮」の観点も踏まえた医療的ケアを実施する。 ・緊急対応マニュアルを見直し、最良のものに改訂していく。 <p>(3) 人権に配慮した教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員参加の人権研修を今年度も 3 回実施予定である。 ・個人情報の取り扱いについては、昨年度から取組んでいる「情報セキュリティーポリシー」の見直しと、整理を行う。 			

【中期目標】 2. 専門性の向上に対する取組み

(1) 授業改善・授業力向上のための取組み

- ・初任者の研究授業は1学期～2学期にかけて実施予定である。指導案作成に時間を費やすのではなく、授業準備や研究協議に力をいれていく。
- ・校長マネジメント予算を活用し、専門的な研修に教員を参加させる。
- ・タブレット PC を授業で有効活用できるよう校内 Wi-Fi を導入し、検証する。
- ・初任者や経験の浅い教員が授業を行う際の参考にできるよう、教材庫の整理や授業案や授業の DVD を整理保存し活用できるようにする。

(2) 自立活動における専門性向上に向けた取組み

- ・外部人材 (PT, OT, ST 等) の積極的な活用を引き続き行う。

(3) 自立活動における新しい取り組みの充実

- ・スパイダーやスヌーズレンの研修に教員を派遣し、伝達講習を行う。
- ・「個別の教育支援計画」を有効活用できるようにする。

【中期目標】 3. キャリア教育の推進

- ・各学部にてキャリア教育の視点を盛り込んだ授業の取組みを行う。
- ・「キャリアプランニングマトリックス」試作版を活用しブラッシュアップを行う。

【中期目標】 4. センターの機能の充実

- ・今年度は2名を新しくコーディネーターに指名した。
- ・市教委等からの巡回相談や講師派遣等の依頼にはすべて応じる。
- ・各市の関係会議や研修等、支援部の教員も可能な限り一緒に出席できるようにする。

*** <<四條畷校「学校経営計画」説明>>**

「めざす学校像」を昨年度の4項目から今年度は5項目に変更。実現に向けての「中期目標」を確認後、准校長が「今年度の具体的な取組内容」を中心に説明を行った。

【中期的目標】 1. 安全安心な学校づくり

(1) 生徒の人権を大切にす教育

- ・教員の校内研修においては、「アンガーマネジメント」を予定している。

(2) 大災害を想定し、学校内外での対応を検討

- ・「大災害時の対応マニュアル」の登下校時の対応も含めたものを今年度完成予定。
- ・2日分の備蓄食と生徒個々に必要な備蓄品に加え、簡易トイレも備える。

(3) 防犯訓練の実施

(4) 個人情報管理の徹底

- ・個人情報誤配付防止にむけての対策を徹底して行う。

【中期的目標】 2. 授業力及び専門性の向上と交流及び共同学習

- ・初任者5名の研究授業を年2回行う。
- ・コーディネーターを2名から3名体制にし、校内支援体制も整備する。
- ・「すぐに使える支援教育」という視点の研修を年3回行う。

【中期的目標】 3. 社会的自立への支援の充実

- ・進路学習を中学部段階から系統たてて行う。
- ・「政治的教養を育む教育」では、昨年度から市の選挙管理委員会に協力を依頼し選挙の授業を行っている。

【中期的目標】 4. センターの機能

- ・東大阪市の一部が通学区域になったことを踏まえ、連携・協力をしていく。

【中期的目標】 5. 家庭及び地域諸関係との連携

- ・生徒の健康管理において、肥満防止や思春期への対応も行っていく。
- ・HP をリニューアル。「准校長だより」も月1回のペースで更新予定。

5. 協議内容

*医療的ケアについて

- ・対象児童生徒は50名程度で、実施数は170～180になる。
- ・今年度から常勤看護師を3名配置し、児童生徒が校内にいる時間帯には非常勤も含め7名の看護師が在中している。人工呼吸器を装着している等、呼吸管理が必要な児童生徒を中心に巡回する新しい取組を始めた。
- ・大阪府内の医療的ケア総数も増加しており、内容も複雑化してきている。

*看護師について

- ・採用は大阪府であるが、実際には各学校で看護師を探すことになる。交野支援学校は医療的ケア実施年数が長い事もあり、以前から勤務いただいている看護師に常勤をお願いすることができた。
- ・ドクターのいない場所での勤務であり、看護師の職務も難しいと思われる。
- ・看護師については定数外での配置や勤務形態等も含め、毎年府への要望をあげている。

*初任者や経験の浅い教員への指導について

- ・本校で14名、四條畷校で5名の初任者が採用された。
- ・学校組織として初任者等を育成していくシステムが大切だと考えている。
- ・安心安全を基本としながら「子どもが好き」「授業が楽しい」といった教員としてのやりの部分を伸ばしていけるようにしたい。

*学校ホームページについて

- ・ホームページは保護者だけでなく、地域の方々への情報発信となるのでも可能な限り、こまめな更新を心掛けたい。

*災害時の対応について

- ・今回の熊本地震に関連して、障がいのある人たちがどのように過ごしていたのかが気になった。
- ・本校のホームページから情報紹介として『全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会』『国立特別支援教育総合研究所』のホームページにリンクをはった。災害があった時の対応や普段から気をつけることなどが掲載されている。
- ・大災害時は携帯電話も回線がつかなくなるという前提が必要と考える。四條畷市内の小・中学校には防災無線があり、いざという時は使用できると聞いている。
- ・やはりトイレの問題は重要であり、消費期限が切れた水もトイレの水等で活用できる。

*施設の老朽化について

- ・施設設備は府全体の予算で、人命に関わることからの改善が優先される。よって計画的に改築を行わないといけない。

*18歳からの選挙権について

- ・本校の高等部では、社会の授業を中心に行っている。
- ・四條畷校では、昨年度四條畷市選挙管理委員会に協力依頼をし、実際の選挙グッズ(本物の投票箱など)を使った模擬選挙も行った。

【*地域からの情報提供】

- ・自立センターにアライグマが住み着いたので駆除した。地域でもアライグマ、マムシ、ムカデなど多くでる。自力での移動が難しい子どもたちもいるので、注意が必要である。

【*委員からのご意見・ご要望】

- ・学校経営計画は学校長が作っただけで終わるのではなく、これを基に学校全体が動いて行かなくてはならない。チームとして取り組んでほしい。